



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

ぼう

えん

きょう

望 縁 郷

vol.30
2017

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【肝付町老人福祉センター内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<http://www5.synapse.ne.jp/kt-syakyou/>

『いったんもめんと結いの家』 オープン！



平成 29 年 3 月 5 日、地域の助け合いの拠点となる『いったんもめんと結いの家』のお披露目会が開催されました。（詳細は次ページに記載）

◆記事内容◆

『いったんもめんと結いの家』特集・・・・・・・・・・	表紙・2
大隅防災フェス・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
赤い羽根共同募金の報告と御礼・・・・・・・・・・	4
肝付町「安心バトン」配布事業・・・・・・・・・・	5
肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業・・・・・・・・	6
毎月第三金曜日は、ボランティアの日！・・・・・・・・	7
町民のみなさん、「安心」をありがとう！・・・・・・・・	8

望縁郷(ぼうえんきょう)の願い！

望んでいます。地域の温かいつながり(縁)で、誰もが安心して暮らせる肝付町(郷)であることを！

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく(エンジョイ)、今日(キョウ)から始めて頂きたいと願っています！

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡(ぼうえんきょう)になれば願っています！

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

特集 「いったんもめんと結いの家」

波野・有明地区では、高齢者いきいきサロンなどに参加されている方々の間で「地域を良くしたい」「波野・有明を盛り上げたい」という声がありました。平成 27 年末頃、肝付町社協職員が声をかけて集まってもらったところ、のちに『いったんもめんと結いの会～歴史とつながりを大切にしたい～』となる集いが定期的に関われることになりました。

1年間の会合を重ねる中で、お互いのことや地域の魅力、地域住民の困りごとなどを語り合い、『波野・有明アクションプラン（地域福祉活動計画）』を立てました。和田振興会の活用可能な空き家を提供いただき、地域住民による整備清掃を経て、平成29年3月、『いったんもめんと結いの家』としてお披露目することとなりました。

現在、いったんもめんと結いの会は、『結いの家』を拠点に、『子ども地域クラブ事業』と『おかずおすそわけ事業』を実施されています。両事業とも有料の『支え愛チケット』で利用できます。チケットは波野公民館・町役場地域包括支援センター・社会福祉協議会本所で購入できます。また、地域クラブやおすそわけの材料となる野菜などを差し入れると貰える『ありがとう券』と交換することができます。

波野・有明アクションプラン（地域福祉活動計画）

＊住みやすい地域にする為の課題解決に向けて、住民の方の協議する場をつくり、社協や福祉課など関係機関と連携をしながら、以下のことを中心に地域福祉を充実させていきます。

私たちが目指す福祉のまち

- 1、地域全体で見守れる関係づくりをする。
- 2、地域に暮らす方や地域外の方も気軽に参加できるような交流の場を広げ、継続した取り組みとなるような体制づくりを進める。
- 3、移動手段や買い物困難の対策を協働で検討する。
- 4、地域の防災訓練を実施し、防災意識の高さを維持する。
- 5、地域で子育て支援を行う。
- 6、助け合える仲間を増やすための、学習の機会をつくる。



子ども地域クラブ事業

波野地区には、学童保育等の施設がありません。そのため、共働き世帯の児童保護者から小学校の方に「波野地区にもあればいいのに」という声が届いていました。

土曜日の放課後や長期休みの日中に畑で野菜作りをしたり、遠足に行ったり、学習したりします。昼食は一緒に食べて「安心できる居場所」を支援しています。毎回約 10 人の児童が参加しています。



おかずおすそわけ事業

『結いの会』の話し合いの中では、地域のおいしい食べ物や薬草の話題で盛り上がりました。反面、買い物が不便という意見も出ました。この配食サービスをおこなうことで、地域の高齢者や要援護者の見守りにもなります。『おかずおすそわけ事業』は大盛況で、毎回100人近い申し込みがあります。

特集「おおすみ防災フェス in kimotsuki」

平成29年3月4日、肝付町体育館でおおすみ防災フェスが開催されました

平成28年に、鹿児島県とフードバンクかごしまの間で「防災協定」が締結され、県内の被災者のもとへフードバンクかごしまの食品が届けられる体制となりました。今回のイベントは、東日本大震災への支援を契機に設置された「鹿児島県大隅半島4市5町復興支援チーム」のつながりや、広い地域に高齢者が居住しており、災害時に孤立する可能性が高いことなどから、肝付町体育館で開催されました。

おおすみハナマルシェの共催もあり、たくさんの方々が会場がいっぱいになりました。

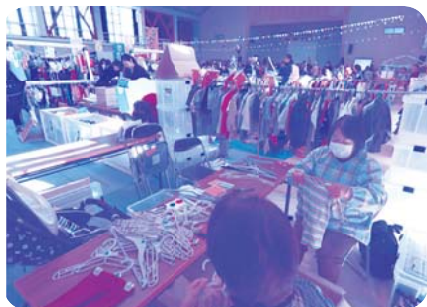


「ごちそうとぼうさい」

同日、非常食をみんなでごちそうにして食べる場を通して、非常食への思い込みを見直し、助け合えるコミュニティーを育てるプログラム「ごちそうとぼうさい」が開催されました。

一つ目の催しとして、肝付町のサロンリーダーが考えた乾パンを使ったレシピ「ごちぼう大賞」の表彰がおこなわれました。非常食として一般的な「乾パン」ですが、ひとくふうでおいしい料理に変身しました。被災時にずっと同じ食品が続いた場合にも変化をつけることでおいしく食べられますが、常備している非常食を定期的に料理に使うことで、賞味期限を切らすことなく更新していくこともできます。

二つ目の催しとして、「おりにぎり（オリジナル呼称）」を作りました。折り目のついたボール紙の上にラップを敷き、その上にご飯を載せて折ると誰かと分け合えできるように2つのおにぎりができます。ラップで包まれるので、汚れた手でも作ることができて、ボール紙は何度でも再利用が可能です。



「モノモノコウカンプロジェクト」

「モノモノコウカンプロジェクト」は、志布志市を中心に活動されているボランティア団体です。すぐに着られなくなってしまう子供服や使わなくなってしまうおもちゃなどを「交換」することでリサイクルを推進し、子育て支援をされています。肝付町では今回が初めての開催でしたが、肝付町内のボランティアの方々や肝付町役場職員、地域おこし協力隊の協力もあり、大盛況でした。

また、当日は子供服やおもちゃのチャリティ販売もおこなわれ、その益金10,000円を「ぜひ、肝付町の子育て支援に活かしてほしい」と肝付町内の4つの子育てサロンに寄付をしていただきました。

大隅地区の新たな災害支援ネットワーク

大隅地区社会福祉協議会連絡協議会、鹿屋青年会議所、新大隅青年会議所による災害時相互協力協定が締結されました

大規模な地震や風水害等の自然災害が発生した場合の被災地支援協力協定を大隅地区の4市5町社協で構成する大隅地区社会福祉協議会連絡協議会と鹿屋青年会議所・新大隅青年会議所の三者で締結されました。

災害発生時に社会福祉協議会の設置する災害ボランティアセンターとの連携により、人的支援のほか物資の調達運搬等それぞれの得意分野を活かし、復旧への支援が円滑で効果的に行えるよう、より強固な災害支援ネットワークが構築されました。



赤い羽根共同募金の報告と御礼

昭和22(1947)年にスタートした共同募金運動は、昨年で第70回目を迎えました。

これまでの募金総額は9,306億円。時代のニーズに合わせてその使い道も変わってきました。共同募金は「法律」に定められた唯一の募金で、現在では、「じぶんの町をよくする仕組み」として計画的に地域の福祉活動を支援しています。今年度も振興会長さんをはじめ、班長さんなどで尽力のもと、多くの募金が集まりました。

心から感謝申し上げます。

○平成28年度に町内で集まった募金○

□一般募金にご協力いただいた皆さまは下記のとおりです。

募金の種類	金 額	説 明
戸別募金	2,432,900円	各振興会長さん並びに班長さん方のご尽力により町内世帯(4921世帯)より寄せられた募金です。
大口法人募金	115,060円	肝付町商工会のご協力により、町内の各事業所から寄せられた募金です。
【協力事業所】CHOYAソーイング 株式会社・株式会社前原建設・横山典礼株式会社・山生産業株式会社・高山自動車有限会社・山佐ホールディングス・有限会社寺石設計・有限会社長倉自動車・あけぼの保育園・内之浦宇宙観測所・有限会社マエダ		
学校募金	39,717円	各学校の児童会並びに生徒会活動等により寄せられた募金です。
【協力学校】波野小学校・高山小学校・内之浦小学校・国見小学校・高山中学校・岸良中学校・波野中学校生徒会・国見中学校・楠隼中学校・内之浦中学校		
その他の募金	73,352円	窓口募金、街頭募金等募金箱に寄せられた募金です。

○平成29年度助成金事業報告○ (平成28年度募金による助成金事業)

平成28年度配分金(総額) 2,661,029円

県共募配分 855,000円 ・大規模災害等の助成金・各福祉施設・各福祉団体
 団体等配分 567,000円 ・18団体(下表)
 地域配分 1,239,029円 ・安心巡回車事業・ボランティア育成事業・地域福祉事業等

平成29年度赤い羽根共同募金助成金配分団体

たんぽぽサロン	高齢者いきいきサロン	新富地区公民館	夏休み子ども講座
富山はつつサロン		前田地区公民館	
地域支えあい委員会	地域福祉事業	後田地区公民館	
寄って結って会		波野地区公民館	
高山小学校	特別支援学級	岸良会	地域づくり事業
内之浦小学校		後田地域づくり事業	
国見小学校		肝付町老人クラブ連合会	福祉団体育成事業
エコーせせらぎ	ボランティア団体活動事業	肝付町手をつなぐ育成会	
ダンボの会	ボランティア団体活動事業	母子・寡婦福祉会	

□地域歳末たすけあい募金にご協力いただいた皆さまは下記のとおりです。

戸別募金	748,405円	各振興会長さん並びに班長さん方のご尽力により町内世帯(4788世帯)より寄せられた募金です。
------	----------	--

平成28年度 歳末たすけあい募金に係る見舞金贈呈事業

本会では、町民の皆様方の善意により集められました歳末たすけあい募金を、今年度も「見舞金贈呈事業」として民生委員さんご協力のもと配布致しました。

今年度対象となった方は、町内在宅の重度障害者(障害者手帳1級または療育手帳Aの方)129名です。「町民の方々の暖かい気持ちがありがたい」などたくさんの感謝の聲が寄せられています。

たくさんのご協力をいただき、誠にありがとうございました。

肝付町「安心バトン」配布事業

この事業は、肝付町民生委員・児童委員協議会と肝付町社会福祉協議会が共同で開始した事業で町内の高齢者・障がい者世帯に、緊急時の連絡先や医療情報を封入する「安心バトン」を配付することにより、急病や災害時等の緊急時に、救急隊や病院に緊急連絡先や医療情報の確実な伝達を図り、安心して暮らせる支え合いの町づくりの推進を図ることを目的に実施します。

「安心バトン」を購入する財源は、町民のみな様から寄せられた「赤い羽根共同募金」の地域配分金を活用しており、昨年秋から地区民生委員さんが既に配付を開始しています。

「安心バトン」を受け取られた方は、中に入っている「緊急情報シート」に緊急時の連絡先を記載し、薬局などで貰える「薬の説明書（薬剤情報提供書）」と一緒に中に入れ、冷蔵庫の扉の飲み物を立てるところに入れて保管しています。

緊急時（救急車が来たとき）は、救急隊員がバトンを持って行き、搬送先の病院へ渡します。民生委員の方から「配布した時に大変喜んでもらった」という声が多数届いています。



平成28年度肝付町“ふくし・ボランティア標語”

広く住民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティア活動をより身近なものとするため、募集いたしました平成28年度肝付町“ふくし・ボランティア標語”について、厳正な審査の結果、以下のとおり最優秀賞作品が決定しました。選ばれた作品は、12月3日におこなわれた『平成28年度肝付町福祉大会』で平成28年度肝付町“ふくし・ボランティア標語”最優秀賞作品受賞者への表彰をおこないました。最優秀賞作品は、町内4ヶ所にある標語塔に掲示しています。

【最優秀作品】

小学生の部（応募総数 390 作品）

『ボランティア つながるつながる みんなの手』

高山小学校 5年 大窪 紫苑 さん

中学生の部（応募総数 224 作品）

『ボランティア 支える力で 輝く地域』

岸良中学校 2年 甲斐 紗也香 さん

第12回肝付町ふくしバザー

平成28年12月3日に開催された『平成28年度肝付町社会福祉大会』に合わせて、ご家庭で眠っている使用しない日用品をご提供いただき、必要な方へ安値でお譲りし、その益金を福祉活動の資金として活用するため、ふくしバザーを開催しました。バザーでは、肝付町内のみなさまから寄せられた日用品などがボランティアの方々の協力により綺麗にラッピングされて、所狭しと並び、バザー会場は大盛況でした。

バザーではたくさんのご協力・参加をいただき、益金が45,000円となりました。益金は地域福祉活動に役立てさせていただきます。使途につきましては、今後の望縁郷で報告いたします。

肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業

肝付町社会福祉協議会では、町の委託を受け「肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業」を実施しています。この事業は、町内の65歳以上のシニア世代の方々が、ご自身の健康づくりや地域での社会貢献活動に取り組むことに対し、地域商品券に交換できるポイントを付与することで、高齢者の健康維持や介護予防、社会参加の促進を図る事業です。

ご自身の健康づくりや社会貢献・地域活動をはじめるきっかけとして、ぜひご登録ください。

色々な活動に参加してポイントを集めましょう！



健康増進課の検診など

- 複合検診
- 肺がん検診
- 女性がん検診
- 結核レントゲン検診

町や登録団体が行う健康づくり教室や研修会等への参加

- 健康教室
- 介護予防教室
- 交通安全教室
- ボランティア研修会など



ボランティア活動など

- 町や登録団体が行う行事等の支援
- 児童・障がい・高齢者等の福祉施設支援
- 在宅高齢者支援

ポイントの対象となる活動

◆対象者◆ 町内在住の65歳以上の方

◆主な活動◆

- ◎町等が実施する検診や健康づくり教室等への参加
各種検診・健康教室・介護教室・交通安全教室・研修会等
- ◎町が指定したボランティア活動
各福祉施設活動支援（児童・障がい・高齢者等）
在宅高齢者への支援等

◆ポイント◆ 活動参加1回につき1ポイント(1ポイント100円相当)
ボランティア活動1時間につき1ポイント(1日上限2ポイント)

年間で50ポイント(5,000円相当)まで商品券に交換できます。(5ポイントから交換)

※ポイントは10ポイントまで翌年度に繰り越すことができます。

◇問い合わせ◇ 肝付町社会福祉協議会 68-8188 (ボランティアセンター)

平成29年度ボランティア登録の受付を開始しています

肝付町社会福祉協議会では、肝付町民の善意と主体的参加によるボランティア活動の推進のため、ボランティアセンターを設置しています。ボランティアセンターでは「ボランティアをして欲しい」というご依頼に対してボランティアの方を紹介し、ボランティア情報や研修会のお知らせを送付するために『ボランティア登録』を毎年お願いしています。

ボランティア登録をしていただいた方には、関心があるボランティア分野をお聞きして、該当するボランティア依頼があった際に電話等でご連絡を差し上げます。また、不定期でボランティア依頼等を掲載した『肝付町ボランティアセンター便り 想願郷』を送付致します。

合わせて、ボランティア活動保険への加入もお勧めしています。

参加は関心のあるボランティアのみで構いませんので、ボランティアに関心のある方はお気軽に登録してください。

◇問い合わせ◇ 肝付町社会福祉協議会 68-8188 (ボランティアセンター)

毎月第三金曜日は、ボランティアの日!



「ボランティア活動をしたくてボランティア登録をしてみたけれど、何から始めたらいいかわからないし、結局何も活動できなかった」という声が以前からありました。平成28年9月、ボランティア交流会を開催したところ「予定が決まっていたら、時間があれば参加するのに」という意見があり、毎月第三金曜日を「ボランティアの日」として決めました。このボランティアの日には午後2時から1時間程度のボランティア活動にたくさんのボランティアの方が参加されています。

ボランティア活動の内容は毎月変わります。一人暮らしの高齢者宅でたまってしまったガス缶のガス抜きをしたり、福祉施設の畑の草むしりをしたり、障子張りをしたりと色々な活動をしています。

ボランティアの日の活動内容については、その週の月曜日に肝付町ボランティアセンターに電話でお問い合わせください。



1,000本以上あった缶が、一時間ほどで片付けました!



「昔は姪っ子たちが走り回って障子張りも賑やかだったのにねえ」と言われていた方のお宅。

楽しくおしゃべりをしながら障子を張りました。

【注意事項】

- ・参加される場合は前もって電話申し込みをお願いします。当日には参加をお断りする場合があります。
- ・初めてボランティアをされる方は、ボランティア活動保険の関係上、前日以前にボランティア登録及びボランティア活動保険の申込をしてください。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		350円	510円
			500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



宮富小学校



波野小学校



高山小学校

肝付町 社会福祉協議会

セブンイレブン

← 吾平

肝付町役場

農協

やぶさめ館

新村畜産

内之浦

高山郵便局

高山小学校

肝付警察署

高山温泉ドーム

肝付町 社会福祉協議会

波見 →

※例年、一般会費は4月をお願いしておりますが、本年は移転のため、7月以降に各振興会長・班長さん方のご協力を頂き、各世帯にお願いさせていただきます。

☆会費は福祉の町づくりを進める財源として、地域の福祉活動並びにボランティア活動の財源にあてております。